

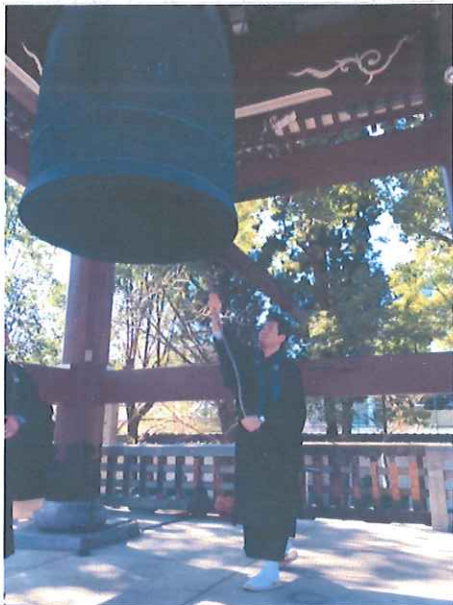


でらボラNAGOYA通信

2017年 4 月号



2017年3月11日 午後2時46分、
真宗大谷派名古屋別院の鐘楼から 大きな
梵鐘の音が響きわたった。^{なぐさ}勿忘の鐘。一人
一人が、それぞれの想いを鐘のひびきに託
す。想いは届けられたのだろうか。
鐘楼から見上げる空は、哀しいほど青い。
しずかに合掌すれば、次々に浮かんでは
消えてゆく虚空の思惟像。あまりに虚しい
思いが やがて「ともに生きるいのちを
忘れないでほしい」という大きな願いとな
ってひびき われわれに届けられてくる。
いつか 時代が変わり だれひとり知る人
がいなくなっても 願いは消えない。



この人
何やるとるの!?



私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しく願い申し上げます。

募金は「一如さん(毎月12日)」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋

3月の活動支援金は 49,061円です。たくさんのご協力をありがとうございました。



勿忘の鐘の声

表
白

今年も、3月1日が来ましたが、忘れられない、忘れられない、
あの日が来ましたが。

地震、津波、原発事故の三重苦が発生したあの日から もう、6年という月日が
流れました。

今日の鐘の声は、忘れそうになった私たちの心に、『震災は終わっていない、
震災は終わっていない』と響くのです。

被災地の橋のたもとに立ち尽し、『ここに出るといふ幽霊は息子かも知れんて会
いに来とる』と言ったおばあちゃん、今も元気だろうか、息子さんの消息は分かっ
たのだろうか、思い出すたびに涙が出ます。今なお、多くのこのような人たちに、

私たちはどう向き合い、寄り添っていけるのか、改めて胸に刻む鐘の声であります。
今の社会をとりまく 「今だけ、金だけ、自分だけ」という自己中心の流れのな
か、私たちはあの日を忘れないことは勿論、社会にも忘れさせない活動が欠かせま
せん。

今、ここに、御仏の前で、共に生きることの尊さを改めて学び、今なお苦しみに
耐える人たちに寄り添ってまいりたいと願ってやみません。

2017年 3月1日
でらボラ NAGOYA 八木 千春